

発行
2023年12月
No.39

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人
支部長 木佐 健悟

北海道ブロック支部事務局
(市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

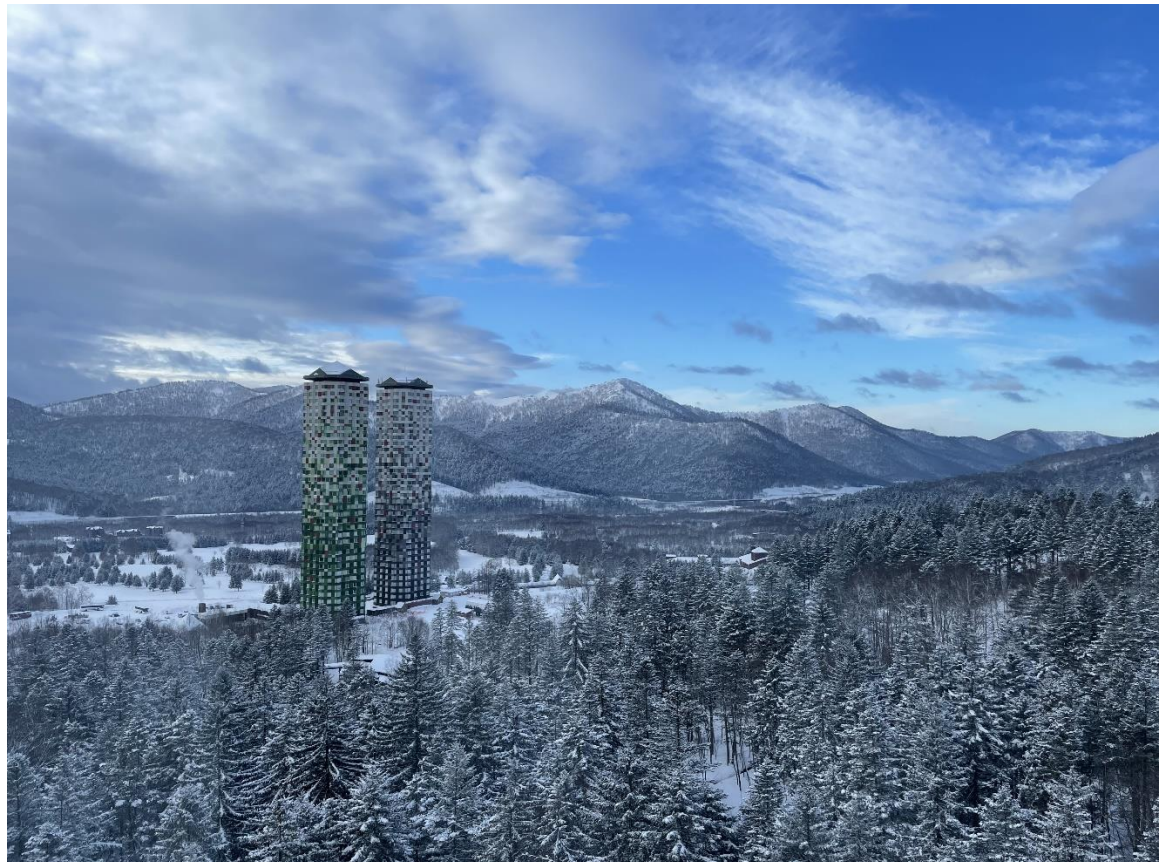
北海道ブロック支部広報委員会

編集前記

この度編集を担当しました、向陽台ファミリークリニックの中島徹と申します。

コロナが5類感染症となってから、様々な対面形式のイベントが復活していますね。一方で、当院の外来はコロナ、インフル、アデノ、それらに分類されない風邪症状など、とにかく上気道炎症症状の方で、かつてない混雑具合になっています。会員の皆様も、それぞれの地域を守って日々奮闘していることかと思えます。本当にお疲れ様です。

この度は、「プライマリ・ケアキャンプ合宿」「北海道大学学生向け勉強会」「プライマリ・ケアフォーラム」の3つについてご報告を頂きました。いずれも久しぶりの現地開催、楽しんでご覧ください！



第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムが開催されました！

2023年11月18日(土)、第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムならびに日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部(兼)第8回学術集会(兼)第103回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会が開催されました！前年度も直前までその可能性を探っていましたが、その時は叶わなかった念願の現地開催となりました。

楢戸 健次郎 先生による基調講演「家庭医に未来はあるか?」、木村 眞司 先生・堀 哲也 先生による特別講演「10年の歩みを振り返って」をはじめ、職種・職歴を問わずプライマリ・ケアについて深く学べる多様な企画が行われました。

ちなみに、編集担当の中島は直前まで参加するつもりでしたが、当日に風邪をひいてしまい不参加となってしまいました…次回こそぜひ！

詳細はトピック③をご参照ください！



トピック① 支部会員リレーコラム

今回編集を担当した、中島がコラムを記載しました。
今回は、子供の頃からずっと続いている私の趣味について語ってみました！

トピック② 「プライマリ・ケアキャンプ合宿@赤平」、「北海道大学学生向け勉強会」を開催しました！

9月と11月に行われた2つの医学生向けイベントについて、道立羽幌病院の佐々尾航先生にご報告頂きました！学生さんにとっても、久しぶりの対面形式のイベントとなったのではないかと思います。

トピック③ 第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム報告！

11月18日に開催された北海道プライマリ・ケアフォーラムについて、今回実行委員長を担当された、函館稜北病院の舩森悠先生にご報告頂きました！これも昨年是对面での実施が叶わなかったため、4年ぶりの現地開催となりました。



千歳

トピック①

支部会員リレーコラム

中島 徹（医療法人北海道家庭医療学センター 向陽台ファミリークリニック）



向陽台ファミリークリニックの中島徹です！千歳市郊外の「泉沢向陽台」という地域で働いています！

ゆっくり折りながら過ごしています。診察室の中に置いておくと、興味をもって見てってくれる人がいたり、小さなお子さんが手にとって遊んでいたりしてくれます。

子供と一緒に遊ぶのもあり、飾り付けに使うのもあり、難しい作品に挑戦するのもあり…そして恐らく年を取ってもできる趣味にもなりそうです（笑）折り紙、いかがですか？

「先生、これ作ってきたんだけど…」

クリニックで診療していると、時々患者さんから折り紙や木彫り細工などの手作りを頂くことがあります。ありがたく頂戴して、クリニックの中に飾ったりしているのですが、こういった飾りはクリニックの雰囲気づくりに一役買っています。

かく言う私自身も折り紙が好きで、子供の頃からよく折っていたのですが、最近は診察室の飾りとしてもよく作るようになりました。ある時期からは立体折り紙にハマリ、少しずつ難しい作品にも挑戦するようになりました。偶然ですが、2023年3月のニュースレターで山口先生が紹介していた「究極のおりがみ」にも挑戦！まだ最高難易度の作品は作っていませんが、それ以外にもリアルな動物などが折れて楽しいです。普通の折り紙よりも大きめのサイズの紙が必要になる作品が多いので、それなりの事前準備も必要ですが、それもむしろ気合いが入って良いですね。1作品作るのに2, 3日かかりますが、休日に

「部屋と折り紙と私」

- 中島 徹 -



トピック②

「プライマリ・ケアキャンプ合宿@赤平」、「北海道大学学生向け勉強会」開催報告（佐々尾 航）



夜はエルム高原家族旅行村で、あかびら市立病院の皆様にご飯をいただき、その後温泉に浸り疲れを癒した後、夜は深夜まで学生と医師で意見交換をしました。



2日目は市立病院の食堂「ぼらん亭」を運営しているボランティアの皆さんが朝食を用意してくださり、一緒に食事しながら交流しました。食後は、支部から「どのように総合診療医・家庭医になるか」をお示しし、北海道内の総合診療・家庭医療専門研修プログラムの紹介をさせていただきました。

あかびら市立病院を見学し、実習として患者さんの血圧測定と聴診をさせていただきました。低学年の学生さんは聴診器に触れることも初めてで良い経験になったようです。キャンプの最後は旧住友赤平炭鉱内を訪れ、全日程が終了しました。



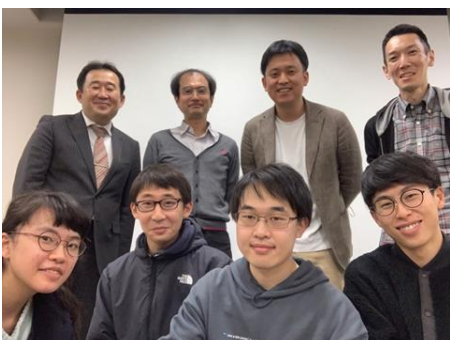
今回参加してくださった学生さんが、将来私たちと一緒に総合診療・家庭医療を学ぶことができることを願っております。今回企画の運営をいただいた皆様、企画に多大なる協力をいただきました札幌医科大学総合診療医学講座の皆様、そして歓迎いただきました赤平市・あかびら市立病院の皆様ありがとうございました。なお、本企画は北海道による「総合診療医確保養成事業」の補助金を活用して実施しております。

2023年9月2日（土）～9月3日（日）の2日間で「プライマリ・ケアキャンプ合宿」を赤平市において開催しました。当企画は「プライマリ・ケア」に関心を持つ道内3医育大学学生を対象とし、地域医療の現状を見る、知る、体験することを目的として、2015年より開催され、幌加内・寿都・倶知安・美唄・せたな・留萌で開催しておりました。今回約4年ぶりに企画を復活させ、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の医学部1年生から5年生までの学生11名が参加していただきました。開催にあたり、札幌医科大学総合診療医学講座の辻教授をはじめ、三原准教授、神野助教に大変お世話になりました。

当日は、まず「家庭医療・総合診療」について簡単に整理した内容をお伝えし、その後市立旭川病院の鈴木聡先生、道立江差病院の杉原先生により、「総合診療医・家庭医療医の役割」をワークショップを通じて感じていただきました。実際の症例に基づいたディスカッションでしたが、積極的に学生さんから学年差を超えて幅広く意見が出ていました。その後、特別養護老人ホーム「愛真ホーム」を訪問し、赤平市の介護サービスについて学びました。



「北海道大学学生向け勉強会」を開催しました！



2023年11月10日（金）に北海道大学において学生向け学習会を開催いたしました。この学習会は、北海道から当支部に「総合診療医確保養成事業」の委託を受け、道内の三医育大学において学生向けの学習会を開催しているものです。コロナ禍におい

ては、大学内に外部の者が入ることが許されなかったこともあり開催できず、その間に以前学習会に来てくださった学生さんも卒業し、つながりが失われてしまっておりました。

今回、北大医学部5年生をご紹介いただくことができ、学生さんが学内を奔走していただき無事に開催することができました。当日は4年生と5年生の4名の方が参加し、「総合診療医・家庭医の専門性とは」というテーマとしました。

最初の講義は、学生さんからリクエストのあったSDH（健康の社会的決定要因）について、釧路協立病院の加藤聡一郎先生から、実際に経験された「貧困」「孤立」「SOGI」の事例を通じてどのようにアプローチしていくのか、学生さんとディスカッションをしながらレクチャーいただきました。学生さんからは積極的に発言があり、事例で考えられる問題点を幅広く気付いていました。医師としてどのように向き合っていくのか、課題に気づき、リンクワーカーに繋いだあとも伴走し、環境を整えていくことの大切さを伝えていただきました。

続いての講義は、寿都町立寿都診療所の今江章宏先生から、「総合診療医・家庭医の病気の診かた」と題して、ある患者さんを例として臓器別専門医からの視点と、総合診療医としての視点を、患者中心の医療などのエッセンスを交えながらお話しいただきました。

少人数でしたが、その分濃密な時間になりました。学習会後には木佐支部長の呼びかけで学生さんと医師で急遽交流会も開催され意見交換ができたようです。

なお、旭川医大は来年1月に、札幌医大は来年3月に開催する予定で進めております。

トピック③

第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム開催報告 (舩森 悠)



目であることを記念して、過去10年の歩みを振り返る特別講演も行われました。フォーラムの歴史や北海道支部の歴史を知ることができ、この引き継がれたバトンをより発展させる形で未来へ引き継いでいきたいと強く思いました。

今回のフォーラムには、医療系学生から熟練の医療スタッフまで、総勢112名の参加者が集いました。参加者の皆様のプライマリ・ケアに対する熱意を肌で感じることができ、この分野のさらなる発展に対する期待が高まりました。

また、懇親会では、さらに親密な交流が行われ、参加者同士の絆が深まりました。次回のフォーラムに向けて、新たな知見と友情を築いた貴重な時間となりました。

次回のフォーラムも、皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。この分野のさらなる発展と共に、私たちのコミュニティがより豊かになることを願っております。

今回のフォーラムに参加いただいた皆様、心から感謝申し上げます。またお会いできる日を楽しみにしています。

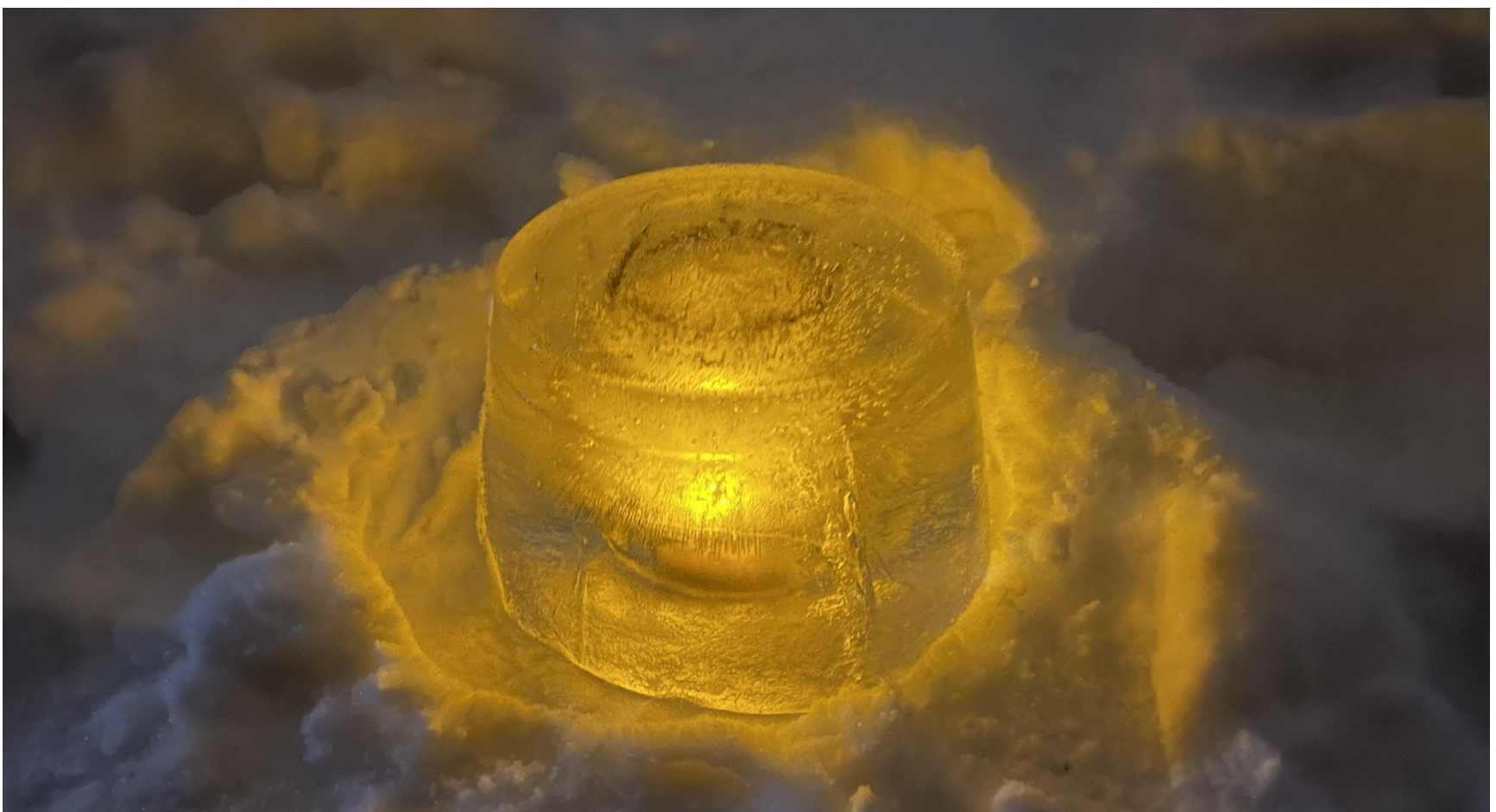
皆様、こんにちは。この度、2023年11月18日に開催された第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムについての報告をさせていただきます。

まずは、4年ぶりの現地開催を実現できたこと、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催が続いていましたが、この度、再び直接顔を合わせた交流が行えたことは、私たちにとって大きな喜びでした。

当フォーラムでは、楢戸健次郎先生による「家庭医に未来はあるか？」というテーマの基調講演をはじめ、多彩なセッションが展開されました。また、本フォーラムが10回目の節

第10回北海道プライマリ・ケアフォーラム
実行委員長

函館稜北病院 総合診療科 舩森 悠



その他のお知らせ

① ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。またFacebookのご登録をされていない方々もぜひ登録を！

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

② 支部の予算について

コロナ禍で、事業をあまり行うことができなかつたことがあったため内部留保があります。幹事会での議論を経て、プライマリ・ケアの普及に予算を使う方向性としております。このため今年度の北海道地方会および北海道プライマリ・ケアフォーラムは無料としております。

北海道ブロック支部でやってみたい行事や活動などがありましたら、幹事会、幹事会などで議論しますので、ブロック支部事務局までご連絡ください！

北海道ブロック支部事務局 Email
hpca.jimukyoku@gmail.com